

防災（減災）講話

災害への備え

令和2年2月19日（水）に実施しました 場所：緑が丘公民館

災害に備える（共助）
～地域は自分たちで守る～
風水害編

正常性バイアスとは！？

人間が、危険や異常に遭遇した時に、
「自分だけは大丈夫！！」と考えてしまう
心理的特性

正常性バイアスを抑えるには、

- ①災害について知ること
- ②状況を把握すること（情報を集める）

風雨の知識

■ 風の強さとその影響



平均風速(毎秒)	風の強さ	影響
10～15m	やや強い風	<ul style="list-style-type: none">・風に向かって歩きにくい。・傘が差せない。
15～20m	強い風	<ul style="list-style-type: none">・風に向かって歩くことができない。・小枝が折れる。
20～25m	非常に強い風	<ul style="list-style-type: none">・車の運転は危険。・風で飛ばされたもので窓ガラスが割れる。
25～30m	非常に強い風	<ul style="list-style-type: none">・樹木が倒れブロック塀が壊れる。・屋外での行動は危険。
30m以上	猛烈な風	<ul style="list-style-type: none">・屋根が飛ばされる危険がある。・木造住宅の全壊が始まる。

風雨の知識

■ 雨の強さとその影響



平均雨量(毎時)	雨の強さ	影響
10～20mm	やや強い雨	<ul style="list-style-type: none">・ザーザーと降る雨。・地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨。
20～30mm	強い雨	<ul style="list-style-type: none">・どしゃ振りの雨。・傘をさしていてもぬれてしまうほどの雨。
30～50mm	激しい雨	<ul style="list-style-type: none">・バケツをひっくり返したような激しい雨。・山崩れ、崖崩れが起こりやすくなる。避難の準備を！
50～80mm	非常に激しい雨	<ul style="list-style-type: none">・滝のように降り、あたりが白っぽくなる。・マンホールから水が噴出、災害が発生するおそれがあり、警戒が必要。
80mm以上	猛烈な雨	<ul style="list-style-type: none">・息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。・大規模な災害が発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要。

土砂災害警戒情報

・大雨警報（土砂災害）が発表され、土砂災害の発生がさらに高まったときに、がけ崩れと土石流の警戒を呼びかける情報。

（前兆現象に注意！）

・土砂災害の兆候として、川の色が濁りや異常なにおい、斜面のひび割れがある。

記録的短時間大雨情報

・**数年に一度程度**しか発生しないような短時間の大雨を**観測**したときに発表される。

（千葉県では100mm/時間）

・災害につながるような猛烈な雨量であるお知らせのことです。

竜巻注意情報

・竜巻は発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する渦巻き状の激しい突風。

（身を守るために）

- ①頑丈な建物に避難
- ②雨戸，シャッター，カーテンを閉める。
- ③1階の窓のない部屋に避難

知っていますか？ 避難情報の正しい知識

外に出るのが危険な場合、無理に避難所には行かず、自宅の2階など上階に避難しましょう（**垂直避難**）

大
災害の規模
小

避難指示 （緊急）

避難勧告よりも強く避難を求めるもの

避難勧告

対象住民に、住居からの立ち退きを勧めるもので、発令されたら避難行動を開始する。

避難準備・ 高齢者等 避難開始

災害時要配慮者とその**支援者**など、避難に時間を要する人は避難行動を開始。

平常時の心得

- 避難するところと、避難経路を確認しておきましょう。
☆避難経路はあらかじめ決めておき、安全に通行できるか確認。
- 家の周りを点検・整備しておきましょう。
☆道路の側溝や雨水ますの周りの清掃。
- 防災、減災に対する知識をもちましょう。
☆日頃から洪水・強風の知識や危険な場所を知り、水害への危機意識を持つ。
- 日頃から地域で協力して、災害に備えましょう。
☆防災訓練や説明会に参加し、地域の方々と、情報を共有する。



避難時の心得



- 避難の呼びかけに注意し、正確な情報を収集しましょう。
☆市や消防などから避難の呼びかけがあったら速やかに避難！！
- 動きやすい服装で2人以上で避難しましょう。
☆隣近所に声をかけ、できるかぎり2人以上で避難！
☆水中でも脱げにくく歩きやすい靴で、車を控えて徒歩で避難！
- 二次災害を防止しましょう。
☆火災予防のため、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める！
- 逃げ遅れ外に避難するのが危険と感じたら、高いところに避難しましょう。
☆1階よりは2階、2階よりは3階など、少しでも高いところに避難！
☆地下への避難は、危険です！水が流れ込み、脱出できなくなる可能性があります。

災害はいつ起こるか分かりません。

1 自分の命を守る

自分の命が守れてはじめて、家族や隣近所を助けることができる。

- ・シェイクアウト（安全確保行動）
- ・家具の固定，ガラスの飛散防止
- ・火を出さない
- ・非常持出品，備蓄品



2 自分たちの地域を守る

「困ったときはお互いさま」みんなで支え合う。

- ・防災訓練，防災講話に参加
- ・避難に時間がかかる人につきそう
- ・ご近所づきあい
- ・避難所の運営

